

●Ver4.30 について。

Ver4.30 は、河川水辺の国勢調査の令和元年度調査用データの入出力用システムです。システムに搭載している生物種目録・重要種マスタを令和元年度調査用へと更新したバージョンとなります。

●本システムの利用環境 について。

本システムを利用する際に必要となる利用環境は以下に示すとおりです。なお、データの容量などによっては、この推奨環境でも処理しきれない場合があります。その際は、利用されているパソコンのスペック向上などを行ってみてください。

※下記（Windows10）以前の環境では利用できませんのでご注意ください。

(1)ハードウェア環境

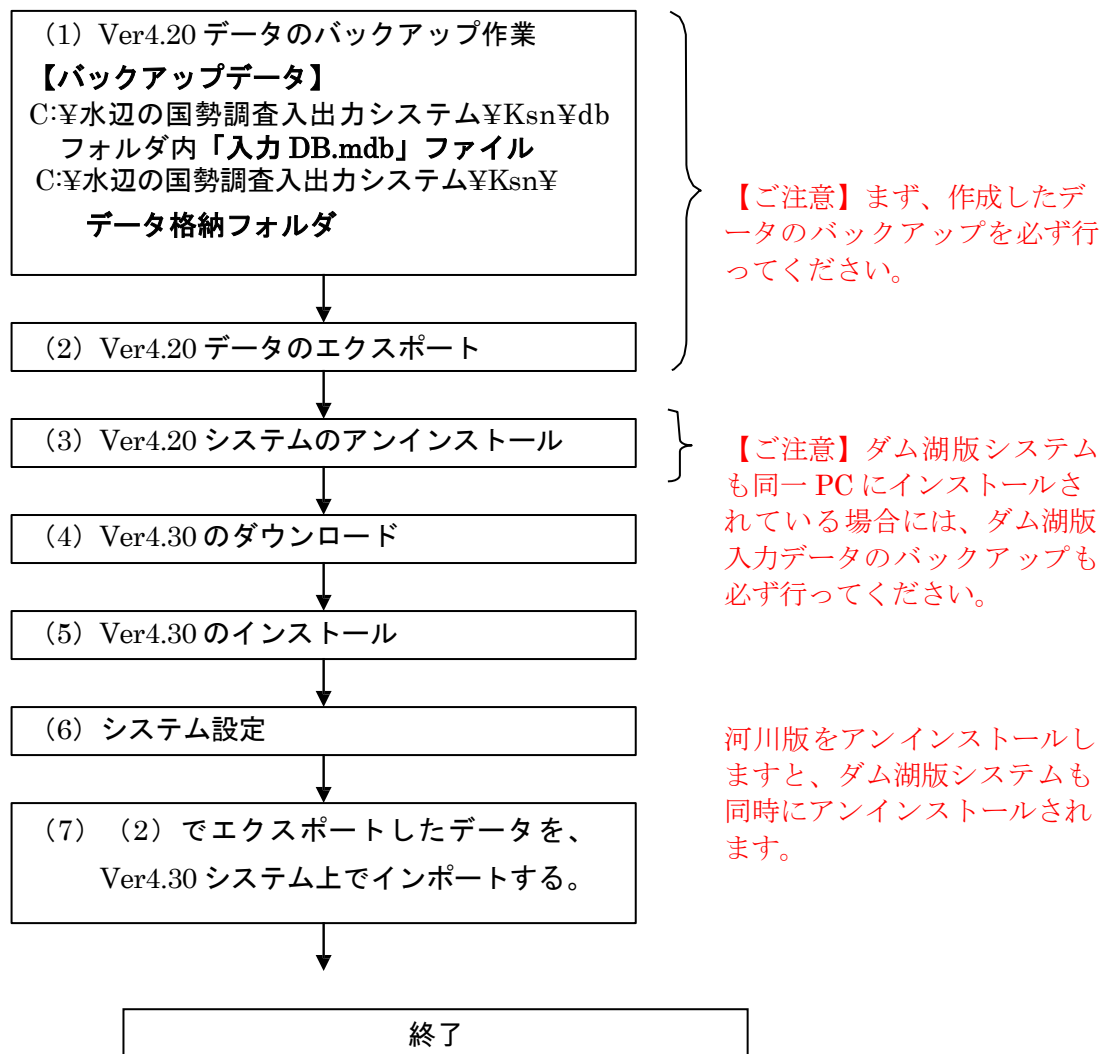
項目	スペック
C P U	Intel Pentium IV 1.5GHz 以上 (もしくは同等以上)
メインメモリ	512MB 以上
HDD 容量	空き容量が、500MB 以上

(2)ソフトウェア環境

項目	種類
OS	Windows10 Home Windows10 Pro Windows10 Enterprise
アプリケーション	Microsoft Excel 2007 Microsoft Excel 2010 Microsoft Excel 2013 Microsoft Excel 2016

●システムのバージョンアップの方法

ここでは、Ver4.20 から Ver4.30 へのバージョンアップの方法を説明します。以下にバージョンアップの作業フローを示します。

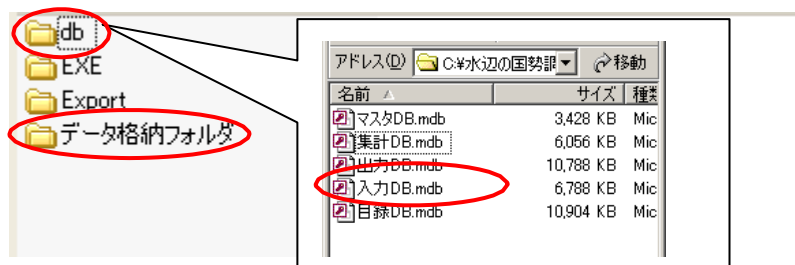


河川水辺の国勢調査【ダム湖版】を同じパソコンにインストールして使っている場合は、(3)で行う河川版のアンインストールを行う前に、必ずダム湖版のデータのバックアップを取得して下さい。
河川版のシステムをアンインストールすると、ダム湖版のシステムも同時にアンインストールされます。
河川版 Ver4.30 システムのインストールが完了した後、再度ダム湖版システムをインストールして下さい。

(1) Ver4.20 で作成したデータのバックアップ処理

「水辺の国勢調査入出力システム」フォルダー「Ksn」フォルダ内にある、「db」フォルダ内の「入力.mdb」ファイルと、「データ格納フォルダ」フォルダのバックアップを取ってください。

※これらは、あくまでもバックアップ用です。ver4.30 には取り込まなくても結構です。

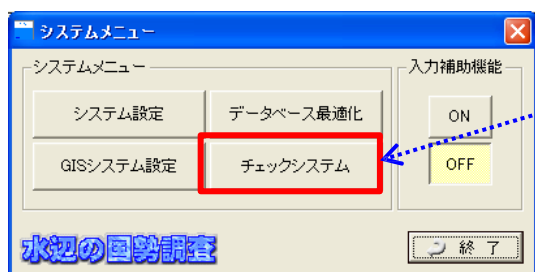


(2) Ver4.20 で作成したデータのエクスポート処理

既存のシステムを起動し、以下の手順で進めてください。



システムを起動し、初期画面の【システム】ボタンをクリックします。



【チェックシステム】ボタンをクリックします。



【調査データファイル出力】ボタンをクリックします。



【参照】 ボタンをクリックして出力先を指定します。

出力先のフォルダを指定して【OK】ボタンを押します。

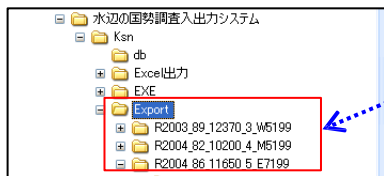


デフォルトの出力先は、入出力システムがインストールされているフォルダにある「Export」フォルダです。

リスト一覧から出力したいデータを選択します。複数選択も可能です。



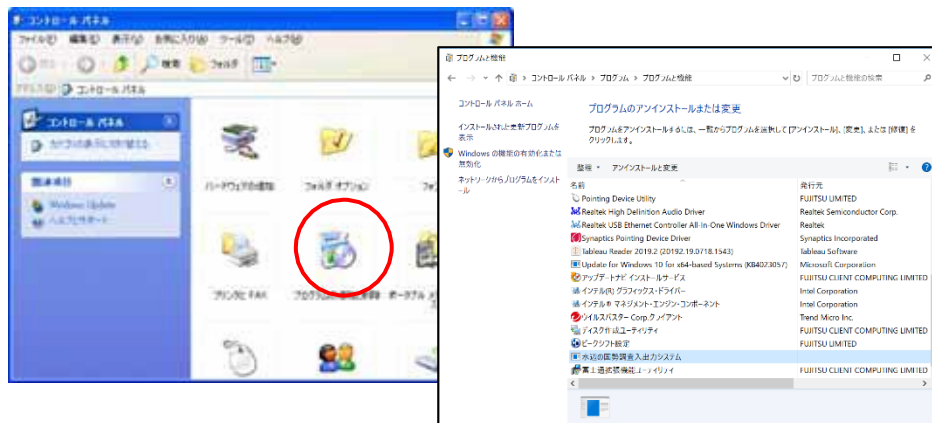
【出力】 ボタンをクリックします。(出力ボタンは、データが選択されたら有効になります)



出力先フォルダに、データが出力されます。出力データは、バックアップとしてシステムフォルダ外へ移動してください。

(3) Ver4.20 システムのアンインストール

入出力システムVer4.20をアンインストールします。アンインストールは、市販のアプリケーションなどと同様に、お使いのパソコンのコントロールパネルの「プログラムのアンインストールまたは変更」を起動し、河川水辺の国勢調査入出力システムを選択して、削除を実行して下さい。その後、不要なフォルダ（入出力システムのフォルダで残っているもの）を削除して下さい。



河川水辺の国勢調査【ダム湖版】を同じパソコンにインストールして使っている場合は、河川版のアンインストールを行う前に、必ずダム湖版のデータのバックアップを取得して下さい。

河川版のシステムをアンインストールすると、ダム湖版のシステムも同時にアンインストールされます。河川版 Ver4.20 システムのインストールが完了した後、再度、ダム湖版システムをインストールして下さい。

(4) Ver4.30 のダウンロード

河川環境データベース (<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>) の「データ作成基準類」より入り、入出力システム Ver4.30をダウンロードしてください。

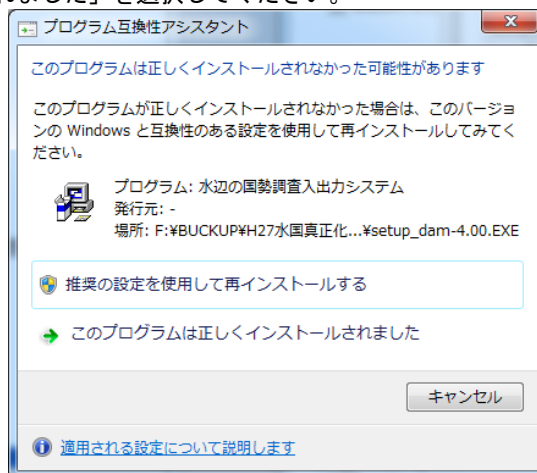
(5) Ver4.30 のインストール

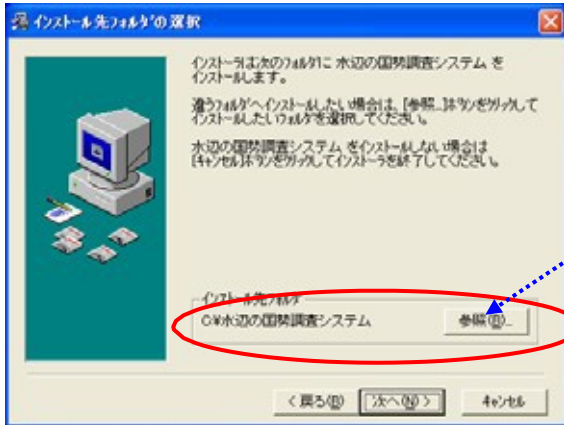
ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍し、下図のセットアップファイルをダブルクリックします。

ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

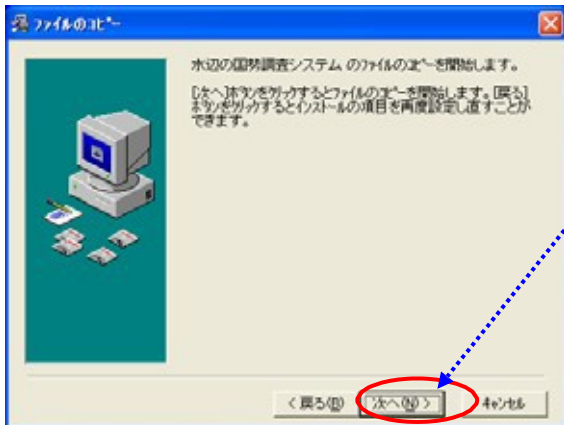
既存のデータのバックアップが完了していれば、チェックを入れて、次へのボタンをクリックします。

※インストール完了後、下記の画面が表示されても、再インストールせず、「このプログラムは正しくインストールされました」を選択してください。

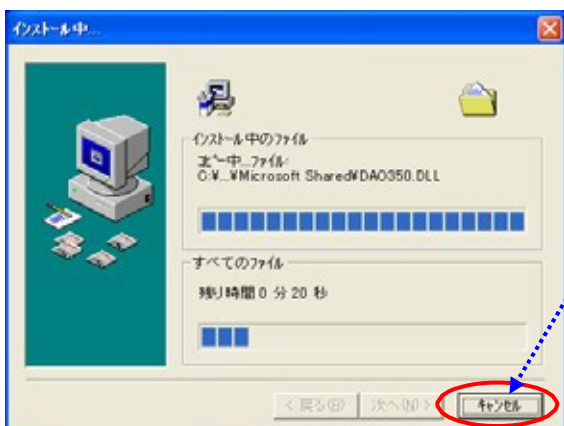




インストールするフォルダを選択します。
※フォルダはデフォルトのままもしくは他の物理ドライブ(¥D など)直下を選択してください。



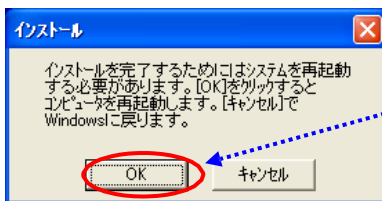
インストールするフォルダが決まったら、次へボタンをクリックします。



途中でキャンセルしたい場合は、キャンセルボタンをクリックします。



インストールが完了したら、完了ボタンをクリックします。



パソコンの再起動を求めるメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動します。

※再起動を求めるメッセージが表示されない場合もありますが、その場合は再起動の必要はありません。

(6) システム設定

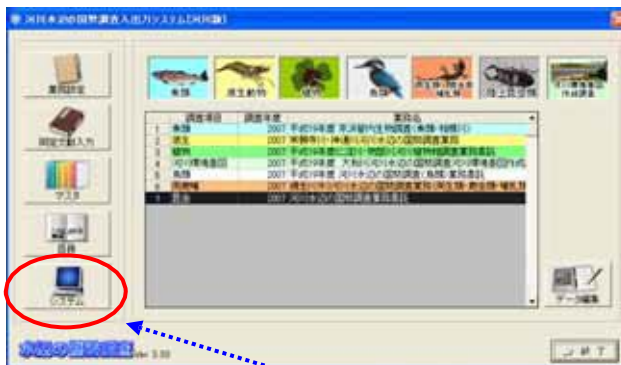
①本システムの起動

インストールした本システムを起動するには、デスクトップ上に作成されるショートカットメニューをダブルクリックしてください。

デスクトップアイコンを
ダブルクリック

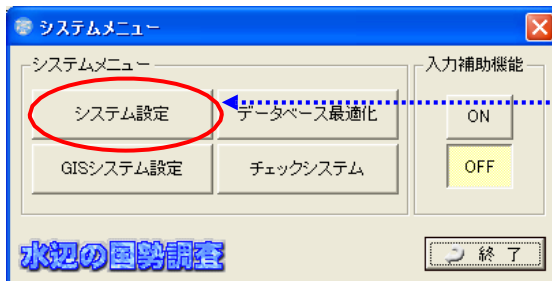


システムインストール後、環境設定を行います。

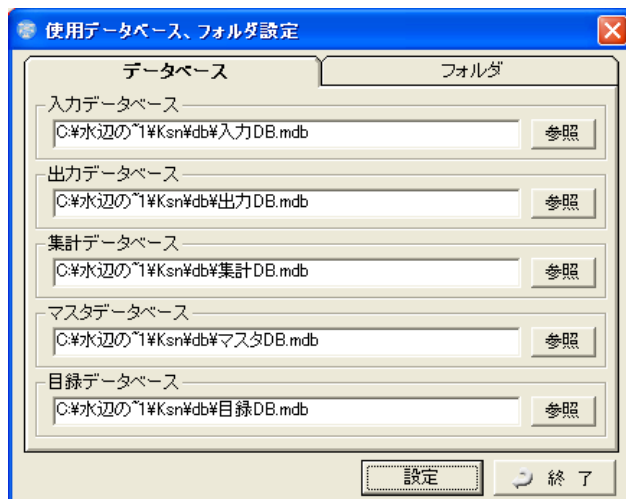


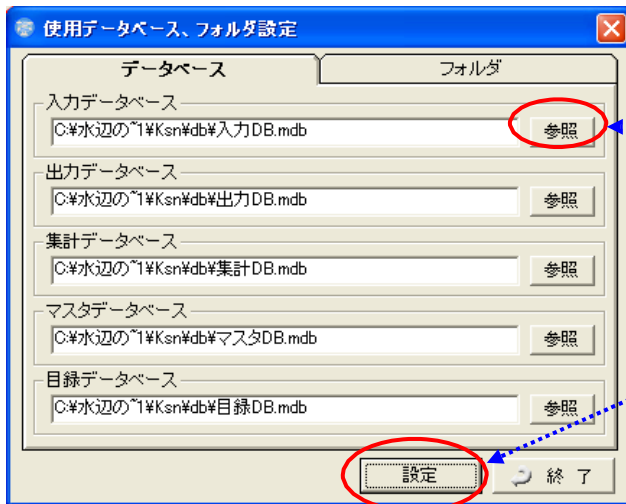
入出力システムを起動します。

【システム】ボタンを押して、システムメニューを開き【システム設定】ボタンを押します。



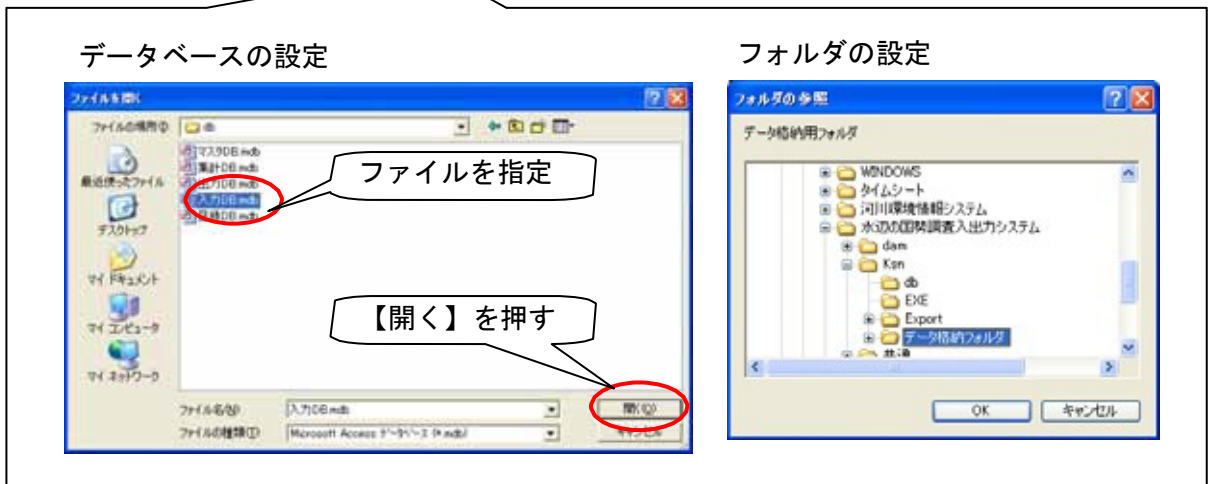
使用データベース、フォルダ設定画面が表示されます。





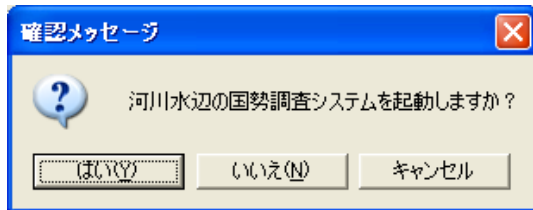
【参照】ボタンをクリックし、それぞれのデータベースのファイルを指定します。

ファイルやフォルダの指定が終了したら【設定】ボタンをクリックします。



<設定する必要がある情報>

データベース	入力データベース	入出力システムフォルダ¥Ksn¥db¥ 入力 Db.mdb
	出力データベース	入出力システムフォルダ¥Ksn¥db¥ 出力 Db.mdb
	集計データベース	入出力システムフォルダ¥Ksn¥db¥ 集計 Db.mdb
	マスターデータベース	入出力システムフォルダ¥Ksn¥db¥ マスタ Db.mdb
	目録データベース	入出力システムフォルダ¥Ksn¥db¥ 目録 Db.mdb
フォルダ	データ格納用フォルダ	入出力システムフォルダ¥Ksn¥ データ格納フォルダ

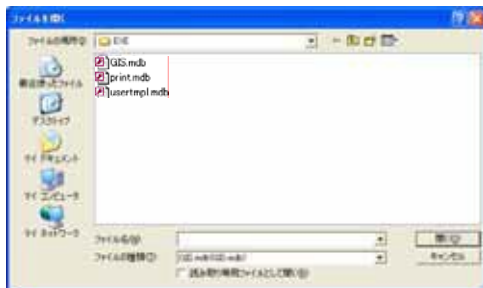
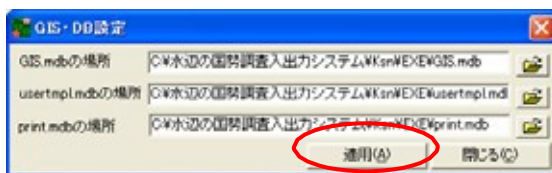
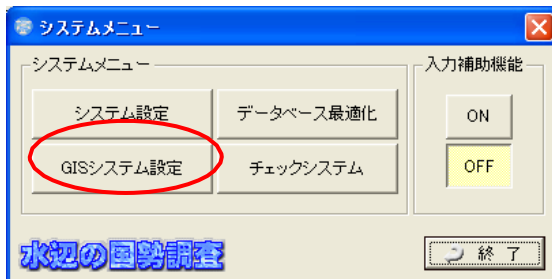


設定が終了すると、確認メッセージが出ます。



【終了】ボタンを押すと、システムを起動するかどうかの確認メッセージが出ますので、処理を選択します。

次に、GISシステムの設定を行います。



システムメニューにある【GISシステム設定】ボタンを押します。



GIS.mdb、usertmpl.mdb、print.mdbファイルの場所を指定します。



設定が終了したら【適用】ボタンを押し、設定作業を終了します。

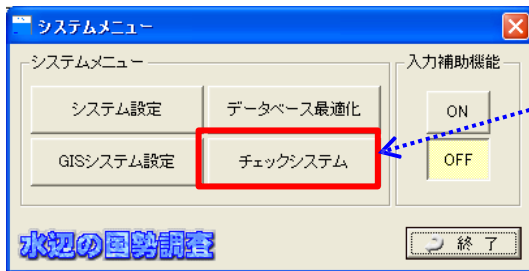
このシステム設定については、一度設定した後に、フォルダ構成などを変えた場合などにも、設定変更する必要があります。

(7) エクスポートデータを、Ver4.30 システム上でインポートする。

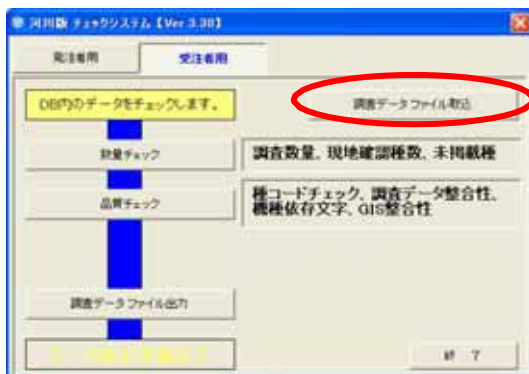
Ver4.30 システムを起動し、以下の手順で進めてください。



システムを起動し、初期画面の【システム】ボタンをクリックします。



【チェックシステム】ボタンをクリックします。



【調査データファイル取込】ボタンをクリックします。



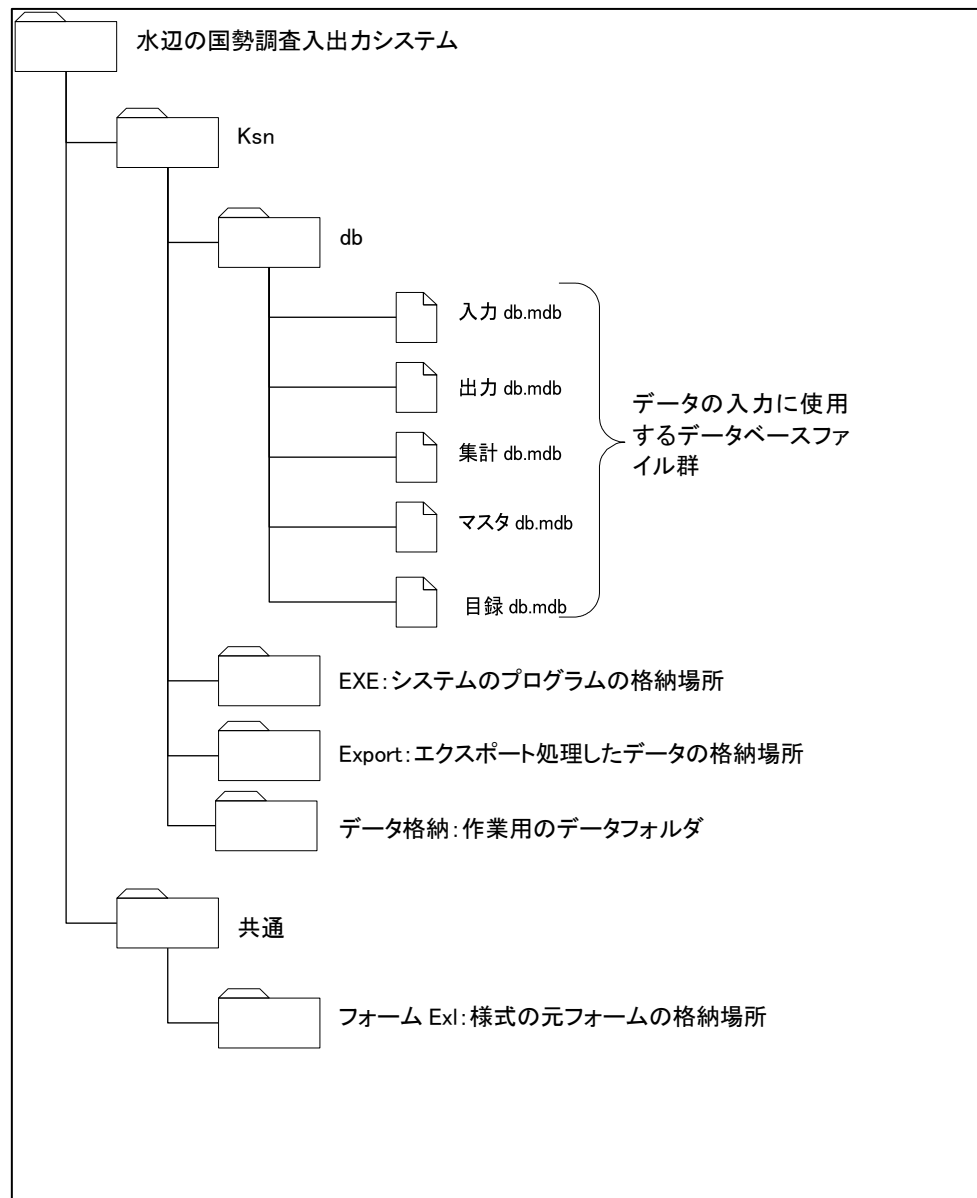
【参照】ボタンをクリックしてデータフォルダ（調査コードのフォルダ）の親フォルダを指定します。

リスト一覧から出力したいデータを選択し、【取込】ボタンをクリックします。

※先にバックアップした ver.4.20 の「入力.mdb」は、あくまでバックアップ用なので、ver.4.30 に上書きしないようにお願いします。

【重要】Ver4.20 データを、Ver4.30 データへバージョンアップした際は、Ver4.30 の生物種目録に基づいて、生物種チェックを行うため、種名チェックを再度かけてください。

【参考】お使いのパソコン内のシステムは、以下のような構成のフォルダとなっています。



1. ダム湖版の入出力システムとの併用について

本システムは、河川水辺の国勢調査入出力システム（ダム湖版）を同じパソコンにインストールしても、使用することができます。

ただし、以下の点についてご注意ください。

- 河川版の入出力システムと、ダム湖版の入出力システムは、一部の機能について共通のシステムファイルを使用しています。従いまして、どちらかのシステムをアンインストールすると、アンインストールしなかったシステムについても使用することができなくなります。
- アンインストールしたシステムを、再度、インストールすると、アンインストールしなかったシステムも使用できるようになります。ただし、データのバックアップが必要です。
- システムのアンインストールを行う前には、必ず「Db フォルダ」と「データ格納フォルダ」のデータのバックアップを実施してください。
- 「Db フォルダ」と「データ格納フォルダ」のバックアップは、河川版、ダム湖版両方のデータについて実施して下さい。
- 「Db フォルダ」と「データ格納フォルダ」のバックアップが終了後、アンインストールを行います。
- アンインストール及び再インストールが終了したら、バックアップしておいた「Db フォルダ」と「データ格納フォルダ」のデータを所定の場所に戻します。

※当システム操作方法などの詳細につきましては、「入出力システム操作マニュアル」本編を、ダウンロードのうえご参照ください。